

# コメディリリック第5回「貧乏放し飼い」

## 「夢担」

登場人物

倫太郎

ペイリー・チャイルド

ヨシ

テオ・ポ―

ダイ

野彦

担当

シロスコフ

※倫太郎、板付き

【L・明転】

グラスを持ち、パーティーの模様を眺めている様子  
の倫太郎

※ヨシ、登場

ヨシ 「ヘイヘイヘイ、楽しんでるかー？」

倫太郎 「おう」

ヨシ 「向こうで今からシャンパン開けるけど」

倫太郎 「俺はいいよ」

ヨシ 「飲み飽きたってかー？で、今日はどの子を持ち帰りすんの？」

倫太郎 「まだ決めてない」

ヨシ 「はっはっは。欲張って、5人も6人も連れ込むんじゃないぞ」

倫太郎 「やめろよ(笑)」

ヨシ 「楽しんで」

※ヨシ、はける

※ダイ、登場

ダイ 「ヘイヘイヘイ、楽しんでるかー？」

倫太郎 「おう」

ダイ 「まいったぜ、ビンゴ大会。レイの野郎がフェラーリ持っていきやがった」

倫太郎 「お前はもう3台持つてるだろ」

ダイ 「1台犬小屋に使っちゃまってよ」

倫太郎 「犬小屋？フェラーリを？」

ダイ 「この国で犬は車、運転できないみたいだよ。腐った国だ」

倫太郎 「違くない」

ダイ 「で、今夜はどのスーパーカーに乗るつもりだい？」

倫太郎 「ミッドナイトレースの時間になったら乗り込むさ」

ダイ 「早めに声かけないとみんなキマツちゃってドライブどころじゃなくなるぞ。楽しんで」

※ダイ、はける

※担当、登場

担当 「ヘイヘイヘイ、楽しんでるか？」  
 倫太郎 「(合わせて)楽しんでるか？」  
 担当 「おっと、エスパー。そんな能力はレディに使おうぜ」  
 倫太郎 「キマツちやつた女に駆け引きなんか必要ないさ」  
 担当 「違うない。どう？今夜のパートナーは決めたかい？」  
 倫太郎 「みんなせっかちだな。夜は長い。ゆっくり探ささ」  
 担当 「いや、早めに選んだ方が良いと思っぜ」  
 倫太郎 「優柔不断なんて言わないでくれよ。こんなに美人ばかりで迷わない男の方がおかしいさ」  
 担当 「いや、本当に」  
 倫太郎 「わかってる」  
 担当 「マジでマジで。だってこれ夢だから」  
 倫太郎 「ん？」  
 担当 「これ夢だから。君の」  
 倫太郎 「何を言ってるんだ？」  
 担当 「よく考えてみて。君にこんなパーティーをしてくれるような友達はいないし、こんな富裕層の生まれでもないだろ？」

2

会社・夢の中

倫太郎 「え？…え？」  
 担当 「現実の君はこんな華やかな人生は歩んでいない。ほらよく考えて」  
 倫太郎 「…本当だこれは夢だ」  
 担当 「な？」  
 倫太郎 「うわー！」  
 【し・暗転】  
 ※担当はける  
 ※倫太郎、板付き  
 【し・明転】  
 ※ヨシ、ダイ、担当、登場  
 ヨシ 「社長」  
 倫太郎 「決めた」  
 ヨシ 「え」  
 倫太郎 「500億出資しよう」  
 ダイ 「500億…」  
 倫太郎 「ただし、僕の財布から出す」

ダイ 「社長のポケットマネーから？」  
ヨシ 「そんな大金頂けません！」

倫太郎 「いいんだよ。俺はお前たちの新たな可能性を見たいんだ。好きにしてくれ」

ヨシ 「…ありがとうございます！」

ダイ 「ありがとうございます！」

担当 「社長、本当にいいんですか？」

倫太郎 「いいと言ってるだろ」

担当 「その500億、自分のために使った方がいいんじゃないですか？」

倫太郎 「どうということだ？」

担当 「だってこれ夢だから」

倫太郎 「え」

担当 「これは夢だから、君の。よく考えてみて、君の会社なんて無いし、君が自由に使える500億なんて無いだろ？」

倫太郎 「…本当だこれは夢だ」

担当 「な？」

倫太郎 「うわー！」

【し・暗転】

※ヨシ、ダイ、担当、はける

※倫太郎、板付き

【し・明転】

友人と電話で話している倫太郎

倫太郎 「カジノ？今日はそんな気分じゃないからやめとくよ」

※担当、登場

担当 「行った方がいいよ」

倫太郎 「君はどこかで…」

担当 「これは夢だから早くカジノで遊んだ方がいい」

倫太郎 「え？」

担当 「よく考えてみて」

倫太郎 「うわー！」

【し・暗転】

※担当、はける

※倫太郎、ダイ、板付き

【し・明転】

ダイ 「…この島全部お前の？」

倫太郎 「そうだよ。この無人島は全部僕のもの」

ダイ 「すげー！」

走り去るダイ

※ダイ、はける

※担当、登場

担当 「早く本島に戻ったほうがいいよ」

倫太郎 「え」

担当 「無人島でやることなんか何もないだろ。早く本島に戻った方が良くないよ」

倫太郎 「お前…」

担当 「これは君の夢だからね」

倫太郎 「うわー！ー！」

去ろうとする担当

倫太郎 「待て！待てよこら！」

担当 「なに？なに？」

倫太郎 「何でもいつもお前わざわざわざこれは夢だからって伝えるの？」

担当 「え」

倫太郎 「いや、お前が言わなきゃ俺は夢だということに気づかずに楽しく過ごせるくない！？」

担当 「それは…僕が担当だからです」

倫太郎 「は？」

担当 「僕が「これは夢です」って言う担当だからです」

倫太郎 「なにそれ」

担当 「勿体ないんですよ！あなたは現実があまりにも貧困過ぎて、本来楽しめる豪華な夢の10分の1も楽しめてない！何で無人島に男二人で来てんの？女と来い！ユートピア築け！」

倫太郎 「余計なお世話だよ！お前、もう二度と出てくるなよ。お前の顔見ると夢だって気づくから」

担当 「そうなっちゃった？」

倫太郎 「そうなっちゃったよ」

担当 「でも僕無しで大丈夫ですか？裕福なこの時間をしつかりと満喫できますか？」

倫太郎 「ほっとけ！」

担当 「まあ、あなたの夢だし、好きにしてください」

※担当、はける

倫太郎 「なんなんだよ。はーこれ夢かー。萎えるわー…こっから起きるまで長えなー

…」

【L・暗転】

5. 学校・夢の中

※倫太郎、ダイ、板付き

【L・明転】

ダイ 「親父の機嫌がよかったから、今朝は1万円もお小遣いもらったんだ。お前は？」

は？」

倫太郎 「6兆円もらった」

ダイ 「金持ちは良いよなー。俺はこの金でサツカーの試合を見てくるぜ。お前は？」

倫太郎 「俺は…そうだな…後で考えるよ」

ダイ 「そっか。じゃあ、また明日！」

※ダイ、はける

倫太郎 「さてと…何しようかなー…6兆円かー

…なんでもできるぞー…」

長い間

※担当、登場

担当 「ほらー」

倫太郎 「あー！（夢だと気づく）あー！（頭を抱える）あー！（何も浮かばない自分へ絶望する）」

【L・暗転】

※担当、はける

6. カワサキ区・路地・現実

【SE・風の音】

※倫太郎、ダイ、板付き

【L・明転】

目を覚ます倫太郎

倫太郎 「…寒い…うう…寒い…腹が減った…」

辺りを見渡す倫太郎

倫太郎 「…いやこれは夢だ…夢のはずだ…」

ダイ 「何寝ぼけたこと言ってるんだ」

倫太郎 「…地獄だ」

ダイ 「お前、日本人か？」

倫太郎 「ああ」

ダイ 「だったら、なおさら地獄だろうな」

ダイの声を聞いて絶望する倫太郎

※ヨシ、登場

スープの入った食い終わった後のカップ麺を持ちながらヨシが通りかかる

ヨシ 「残り汁いる？」

頷く倫太郎

渡すヨシ

※ヨシ、はける

カップ麺の残り汁に口をつけようとするとヨシが襲い掛かる

カップ麺の空を奪い合う二人

ヨシが鬼の形相で完膚なきまでに倫太郎を痛めつけ、一人でスープをすすする

倫太郎 「うわー！」

【L・暗転】

——